

こんにちは!! 学校教育ICT推進班です。今回は、夏休み前に準備しておきたいこととして……

今回の話題 タブレット端末の持ち帰りについて

1人1台端末の活用は進んでいますか?学校内での活用が進むと、次のステップとして重要になるのが端末の持ち帰りです。今回は、端末の持ち帰りがテーマです。

タブレット端末の持ち帰りはできていますか?

- ① 持ち帰らせて壊してしまったらどうしよう。
- ② 紛失などしたら大変なことだ。
- ③ そもそも保護者に説明してない。
- ④ 委員会から、まだ許可されていない。

- ・ 授業の続きをやってみようかな。
- ・ 友達の作業の進み具合はどうだろう。
- ・ 明日、準備するものは……。



夏期休業中に端末の持ち帰り学習を実施した学校の割合(鹿児島県)
小学校29.9%(全国58.2%),中学校31.0%(全国63.3%)

など、いろいろな課題の声も聞こえてきます。契約や保証の内容によっては、持ち帰りができない端末もあるかもしれませんが、文部科学省初等中等局からの依頼文、令和5年3月30日付「端末の利活用状況等の調査結果を踏まえた対応について」の中で、端末の持ち帰りについても重点的な改善を全国的に依頼されているところです。

なぜ持ち帰る? 家庭学習の意義とは?



子供たちの学びは連続しています。

学校で学習した子供たちの中には、学習内容によって「あれをもっと調べてみたいな」、「おうちでもやってみようかな」、など自分の興味・関心や自分のペースで学習を進めようとする子供たちもいるはずですよ。

学習指導要領の総則には、家庭学習について「家庭との連携を図りながら、児童・生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること」と示されており、学習習慣の確立が家庭学習の目的とされています。

AIドリルなどのアプリやオンラインサービスを利用することで、宿題の配信はもちろん、採点を自動化させたり、取組状況を一覧表で把握したりすることで、支援が必要な子に適切に指導することができます。長期休業中においては、進捗状況をオンラインで把握することもできます。

また、インターネット上の動画教材を予習に活用させたり、授業支援アプリを活用して、学校で学習したことを家庭でも見直し、場合によっては発表資料を修正し、家族に伝えたりすることで連続した学びのきっかけにもなります。このことは、個別最適な学びへもつながり、主体的な学習を促すことにもなるでしょう。

どんな家庭学習が考えられますか?

① タブレット端末のよさを生かして

音読の様子やリコーダーの練習を動画で提出したり、今学んでいることと関係するものを身の回りで探して写真で撮影したりするのもいいですね。

② 県域教育用アカウントやクラウドサービスの良さを生かして

学校で学習し、クラウドに保存していた調べ物や発表準備の続きをしたり、友達と共有し、協働して作成したデータにコメント記入したりするのはどうでしょう。

取り組みやすいことから保護者と協力して進めることが、継続した実践へつながります。

1学期中に実績を重ねることで、夏休みの課題もペーパーレス化することができるかもしれません。積極的な取組をよろしく願っています。よい実践がありましたら、Teams「KagoGIGA 情報交流室」にも、ぜひご紹介ください。

日常的な情報活用能力の育成

授業と家庭学習がにつながる

このほか、こんな効果も!

保護者は学校の学習の様子を確認

提出状況、取り組み状況も可視化

参考文献:GIGA スクール初めて日記③情報端末持ち帰り(さくら社)
堀田龍也・山本朋弘・佐藤和紀・三井一希【編著】

